

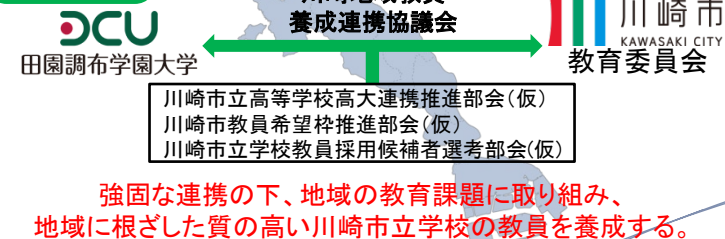
地域教員希望枠で拓く、持続可能な小学校教員養成モデル

ー地域で唯一の養成課程と教育委員会の連携でつくる、地域に根ざした教員養成のしくみー

課題 短期的課題【学校教員の安定的な確保】川崎市における小学校教員採用試験の急速な倍率低下：1.8倍（R5採用）⇒1.4倍（R6採用）⇒1.4倍（R7採用）
 長期的課題【持続可能な教員養成モデルの構築】「令和の日本型学校教育」を踏まえて、社会構造の変化の中で、地域で持続可能な魅力ある学校教育を実現

連携取組 本学と川崎市教育委員会は、R6年度に「教員養成に係る包括連携協定」を締結 ⇒ 相互的教育資源を活用し、地域に根ざした質の高い川崎市立学校の教員養成を行う
 高校在学時から入学試験、教員養成、教員採用試験、採用後のフォローアップに至るまでの取組を推進 ⇒ 当面、川崎市立小学校の教員不足という喫緊の課題に対して優先的に対応を講じる
 地域密着型のプログラムを提供し、学生が即戦力として地域の教育に貢献できる教員へと成長できるよう支援する ⇒ 地域に根ざした教員を育成・輩出し、地域全体の教育基盤の強化を図る

連携体制



成果・効果

- ◎地域の教育課題への対応
- ◎地域に定着する教員の増加
- ◎地域における持続可能な教員養成モデルの構築

教員採用試験の構想

- ◎川崎市立学校教員採用候補者試験（大学3年生） ◎川崎市立学校教員採用候補者試験（大学4年生）
- 実務家教員やコーディネーター教員による個別指導を受けながら、模擬授業を繰り返し実施し指導技術を磨く。さらに、教員採用試験に向けた実践的な演習を受講し、面接や指導案作成の能力を強化する。

教育課程・連携プログラム

学部課程で小学校教諭免許状の取得を目指しながら、川崎市教育委員会との連携プログラムを履修する。早期に学校現場を体験し、地域の教育課題を実地で学ぶことで、これらの課題に主体的かつ積極的に取り組む小学校教員を養成する。
 また、地域の特性や教育課題に対応した授業を展開することで、地域で求められる教員として理解を深める。

川崎市教育委員会と連携した授業等の実施

川崎市教育委員会との連携プログラム	
かわさき教師塾への参加	学校ボランティア
学校インターンシップ	指導主事や現役教員の講師派遣

高校生向けプログラム

小学校教員志望する高校生向けに、川崎市で教員として働く魅力を伝え、教育への関心と意欲を高めてもらうことを目的として、川崎市教育委員会と連携、協働しながら川崎市立高等学校（高大連携）を中心として、高校生向けプログラムを実施する。

◎主なプログラム

- ・大学教員による高校への出張講義
 - ・川崎市立小学校の授業見学
 - ・現任教員等によるキャリア形成に関する講演（探究型）
 - ・小学校教員養成に係るワークショップ（体験型）
 - ・長期休暇中の集合プログラム（講座型）
- ※高校の総合型学習「探究」の授業と連動
 ※単位化も検討

川崎市教員希望枠（地域枠）」

総合型選抜入試で実施
 ※予定人数：10～20名

◎主な出願条件

- ①小学校教諭の免許状を取得を希望し、川崎市立小学校で勤務を希望する川崎市立高等学校出身の高校生
- ②小学校教諭の免許状を取得を希望し、川崎市立小学校で勤務を希望する川崎市内在中の高校生

教員採用後

教員採用試験

大学在学中
学部+連携プログラム入学者選抜
大学入学前
（高校2・3年生）

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年以降